

会 議 録

1 会議名

平成 28 年度 第 3 回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

地域活動支援事業について（採択事業及び補助額の決定）（公開）

3 開催日時

平成 28 年 6 月 20 日（月）午後 6 時 30 分から午後 8 時 30 分まで

4 開催場所

高土地区公民館 2 階 中会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：青木正紘（副会長）、飯野憲静（会長）、飯野正美、金子和博、
小林トシ子、建入一夫、中嶋真一、樋口義昭、日向こずえ、細谷八重子
横川英男、横山とも子
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、小林主事

8 発言の内容

【小林主事】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により会長が議長を務めることを報告

【飯野会長】

- ・ 挨拶
 - ・ 会議録の確認：金子委員に依頼
- 3 議題「地域活動支援事業について」事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.1により説明

【飯野会長】

説明のとおり、士-15は委員全員が適合しないと審査しているため、不採択としてよいか。

（「よし」の声あり）

それでは、士-15は不採択とする。次に資料No, 1に基づき、提案事業の採否を協議し、決定する。方法としては、第1位の事業から順番に採否を決めていく。ここで注意だが、採点結果を尊重し、上位の事業が不採択で、下位の事業が採択となるようなことは極力避けていただきたい。

では、はじめに第1位の士-11について、採択としてよいか。意見のある方は発言願う。

【横川委員】

採択してよいと考える。

【飯野会長】

1位、士-11については採択でよいか。

（「よし」の声あり）

2位、士-10については採択でよいか。

（「よし」の声あり）

3位、士-9については採択でよいか。

（「よし」の声あり）

4位 士-3については採択でよいか。

（「よし」の声あり）

5位、士-6については採択でよいか。

（「よし」の声あり）

6位、士-1については採択でよいか。

（「よし」の声あり）

士-5については採択でよいか。

（「よし」の声あり）

8位、士-12については採択でよいか。

(「よし」の声あり)

9位、士-16については採択でよいか。

(「よし」の声あり)

10位、士-2については採択でよいか。

(「よし」の声あり)

11位、士-14については採択でよいか。

(「よし」の声あり)

12位、士-7については採択でよいか。

(「よし」の声あり)

13位、士-8については採択でよいか。

【横川委員】

こちらの提案は、高士区だけでなく諏訪区と津有区へも提案している事業である。他の区の採択状況は把握していないが、高士区で不採択となると、事業が実施できなくなってしまう、他の区へも影響が出てきてしまうため、これまでの例では採択としていた。今年度も採択としてよいと考えるが、他の区の状況について、事務局で把握していたら教えていただきたい。

【小林主事】

諏訪区と津有区では、まだ採択事業が決定していない状況である。

【飯野会長】

横川委員が言われたような理由から、採択としたいと思うが、皆さんはどう考えるか。

【建入委員】

雄志中学校の生徒たちの活動に必要な提案なので採択してよいと思うが、今ほどの理由で採択すると、先ほど不採択とした士-15も、他の区へも提案している事業であるため、不平等ではないか。

【飯野会長】

士-15は雄志中学校区青少年育成会議からの提案と違い、同じ団体が各区へ提案している訳ではない。こちらは「上江用水路世界かんがい施設遺産」に関連した事業内容だが、それぞれの団体が各区へ別々に提案している。よって、高士区で不採択となっ

たとしても他の区に影響が出るようなものではない。

【金子委員】

もし、高士区で採択されなかった場合はどうなるのか。

【小林主事】

他の区でのヒアリングの際に、金子委員と同じ質問をされた委員がいた。その際の提案者の回答は、「3区内、1区でも不採択となった場合は、事業の実施が難しい」という回答であった。

【金子委員】

提案では看板を2つ作成するようなので、1つ分を減額するというやり方も考えたが、見積書を見ると2つ分の工事を合わせた金額が出ているので、1つを減らすと金額が変わってくる可能性があり、難しいと思った。

【飯野会長】

順位が下の方であるから不採択とする考え方と、他の区への影響を考慮して採択とする考え方の2つの意見が出ている。こちらの提案については、仮に減額採択としても、事業が実施できないため、満額で採択するか不採択として補助金は交付しないかの2通りしかない。

【金子委員】

減額採択ができないのであれば、順位を尊重して不採択としてはどうか。

【横川委員】

順位を尊重することは大切であるが、各団体の事情もあり、どうしても順位通りにいかないことが過去にもあった。士-8は満額で採択して、他の事業から少しずつ減額するという方法はどうか。

【横山委員】

士-8は他の区への影響もあるので減額しないで他を減額するとなると、高士区の中でのバランスがおかしくなってしまうような気がする。例えば、基本審査に関して上位の事業でも「不適合」とした委員がいる事業については金額に反映させていくという考え方もできる。だが、減額すると実施できない事業もあるので、今回は件数も多く難しいと思う。

この事業は活動内容は素晴らしいと思うが、看板の設置場所が雄志中学校となると高士区の住民が目にする機会が少なく、疑問を持っている委員もいると思う。

【金子委員】

基本審査で「不適合」とした委員が4名いるため、採択結果に反映すべきではないか。

【飯野会長】

基本審査を尊重すると、おそらく不採択となる。他の区へも影響が出ることを承知で不採択とするのも一つの結論だとは思いますがどうするか。

【横川委員】

意見を尊重することも大切だが、私は子どもたちの活動に必要な経費であるため採択してあげたいと思う。実際に高土区の中学生も活動に参加しているので、「高土区の子どもたちのため」という考え方もできるのではないか。

予算が超過しているため、490万円から溢れた下位の事業を全て不採択とするのが最も簡単な方法ではあるが、提案者は高土区の地域活性化のためにいろいろと考えて提案している。どの事業もこれからの高土区にとって必要な事業であると思う。このような気持ちで採択してはどうか。

【樋口委員】

私は採点を行うと同時に、それぞれの事業で減額できる部分はないかどうかも考えてみた。士-8は、他の区への影響を考えて採択すべきだと思う。横川委員が言われたように、どの提案も高土区にとって必要な提案であり、なるべく採択してあげたい。

新聞等で他の区の採択結果を見ると、提案件数も少なく、予算が余ったため2次募集している所も結構ある。その中で高土区は提案件数も多く、また100万円以上超過している。これは、高土区の皆さんが地域活動に一生懸命である証拠だと思う。このことからなるべく不採択は出たくないと思う。

【青木副会長】

雄志中学校区青少年育成会議では、高土区、津有区、諏訪区の子どもたちのためにいろいろな活動を考え、取り組んでいる。今回の提案も「看板の設置」と考えると疑問はあったが、この看板が設置されることによって、子どもたちの活動が今よりも活発になると思う。子どもたちのために保護者や地域の方が一生懸命考えた提案であるため採択してはどうか。

【飯野会長】

沢山の意見が出たため、そろそろ採否について決めたいと思うがよいか。

【中嶋委員】

採択してよいと思う。

(「よし」の声あり)

【飯野会長】

では、士-8を採択とする。

次に14位、士-4についてはどうか。

【横川委員】

これは、昨年度からの継続事業であり、地域の方からも好評なので採択としてよいと思う。

【飯野会長】

採択でよいか。

(「よし」の声あり)

士-4を採択とする。

次に15位、士-13についてはどうか。

【横川委員】

これは、昨年度に元屋敷町内で「何か新しいことができないか」と話し合った結果、始まった取り組みで、今年度は地域活動支援事業を活用し規模を大きくしていきたいと思っている。他の町内や諏訪区からも「いい取組である」と評価していただいた。小さな事業ではあるが、この事業が年々広がり、やがては高士区全域で実施されるような事業に成長してほしいと思っている。

【飯野会長】

横川委員から、町内の思いを教えていただいたが、採否についてはどうするか。

【小林委員】

高士区では、健康サロンもやっているし、健康体操は年代によって動きも違うので、皆で一緒にやるのはどうかと思う。

【青木副会長】

とても良い取り組みだと思うが、単一の町内会からの提案であるため、不採択としてはどうか。もしこの提案を採択すると、来年度以降も単一の町内会からの提案が沢山挙がってきてしまい、早いもの勝ちのようになってしまう恐れがある。

【横川委員】

地域活動支援事業は5名の構成員がいれば提案できるため、単一の町内会からの提案で

も内容が良ければ採択してよいと考える。

【青木副会長】

附帯意見として「高士区全域へ周知してほしい」と附して採択してはどうか。

【小林委員】

4年前にもどこかの町内で「音楽鑑賞を行う」といった提案があつて、単一の町内だからという理由で不採択とした経緯があつたと思う。

【飯野会長】

確かにそのような提案はあつたが、そちらは採択の前に提案を取り下げたはずだ。なので、地域協議会として採点は行っていない。

【横川委員】

町内で「何か新しいことをしたい」という際に支援するもの地域協議会の役割の一つではないか。考え方を換えれば、この提案を不採択としたら、来年度以降に町内でこのような動きがあつても「昨年度、元屋敷町内会は不採択となったから、提案はやめておこう」と考え、せつかくのアイデアがつぶれてしまう可能性もある。

【小林委員】

高士区ではすでに「出張サロン」があつて、公民館まで通えない方でも参加できるし、若い方が参加しやすいように土日の開催となっているが、高齢者と若い世代の体操は違うと思うので、一緒に行くことは難しいと思う。

【飯野会長】

金額的にも少ないし、内容を見たときに減額してもできる事業だと思うので、採択としてはどうかとも思うが、沢山の意見が出たので、採否について全委員から〇×で投票してもらい、その票数の多い方で決定したい。

【横川委員】

委員が12名なので、半数ずつになったらどうするのか。

【飯野会長】

その場合は私が決めてよいか。

（「よし」の声あり）

— 投票準備と開票 —

【飯野会長】

投票の結果は、6票ずつの同数となった。議長判断で採択とする。

(「よし」の声あり)

よって採択事業が15件、不採択事業が1件となった。

続いて採択された15件の提案について、採択額を協議し決定していく。1件が不採択となったため、29万1千円が不足している状況である。採択額の決定方法について、事務局へ説明を求める。

【小林主事】

・資料No.4により説明

【飯野会長】

採択された事業を一律で減額するというのも一つの方法ではあるが、減額されたことによって、事業そのものが実施できなくなってしまうケースもあるので、その辺りを考慮しながら減額しなくてはいけない。委員の意見を求める。

【飯野委員】

高士地区の安全安心対策事業について、各町内へトランシーバーを設置する計画だが、高士区にはすでに数台のトランシーバーがあるので、減額は可能ではないか。

【横山委員】

減額したら事業が成立しないものについて、事務局で提案者から話を聞いていれば、参考に伺いたい。

【小林主事】

減額採択となった場合に事業ができないものは、雄志中学校区青少年育成会議から提案のあった2件である。こちらは、提案者から「減額採択となった場合は事業が実施できない」と伺っている。次に、上越交通安全協会高士支部からの提案について、のぼり旗の本数が減ると1本あたりの単価が高くなってしまうため、減額は難しいと伺っている。また、高士歴史研究会からの提案の中で「冊子の発行」があるが、この部分も数が減ると単価が高くなると伺っている。

【横川委員】

体育大会事業はすでに終わっているなので、減額は難しいのではないか。

【飯野会長】

提案日以降であれば事業の執行が可能であり、減額または不採択となる可能性があることも承知で事業を行っているため、実施済みであるから減額できないという事はない。

【横川委員】

減額できる事業は何件あるのか。

【飯野会長】

士-3、士-8、士-9以外は全て減額の可能性がある。

皆さんの了承を得られるのであれば、正副会長で考えた採択案を発表させていただきたい。その後で、皆さんからのご意見を参考に修正を加え、最終的な形にしたいと考えているがよいか。

(「よし」の声あり)

皆さんからの了承が得られたので、減額の案を発表する。

士-10「雪まつり開催による地域交流事業」について、補助希望額の約7%の10万円を減額したい。次に士-16「高土地域の歴史調査集積事業」について、冊子の印刷代は満額として、それ以外の事務費等から7万2千円を減額したい。次に士-5「高土地域の安全安心対策事業」について5万7千円を減額したい。次に士-4「男の料理教室開催事業」について、事務費から1万円を減額したい。次に士-13「健康づくりを通じた地域活性化事業」について、講師謝礼以外の2万4千円を減額したい。最後に士-11「高土地域・高土小学校体育大会事業」について、講師謝礼分の2万8千円を減額したい。

以上が正副会長案である。委員からの意見や質問を求める。

【横山委員】

今の案で29万1千円の減額となるのか。

【飯野会長】

その通りである。

【横山委員】

「雪まつり開催による地域交流事業」は、補助希望額が大きいので10万円を減額したいとの提案であったが、こちらの団体は昨年度も同様の理由で減額採択となっている。実行委員会の皆さんが頑張ってくれて、高土初の大きなイベントになった。昨年度の話を知ると、予算が少なくて大変だったようだ。なので、今年度は満額で採択したいという気持ちがある。

【中嶋委員】

資料No.2の特記事項を参考にして、「ふるさと高土まつり事業」の「のぼり旗の作成」の部分を減額してはどうか。

【青木副会長】

このキャラクターは、昨年度の地域活動支援事業で誕生し、今年度はもっと多くの方に知ってもらいたいと思い、「のぼり旗の作成」を提案した。よって、減額は避けたい。

【飯野会長】

それぞれ、色々なお考えがあると思うが、この案で収めていただけるとありがたいが、いかがか。

（「よし」の声あり）

それでは、正副会長案の通りで決定させていただく。

金額が決まったので、付帯意見について事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.2に基づき説明

【飯野会長】

資料No.2に書いてある意見を参考に、採択事業について付帯意見を附すかを協議する。

【青木副会長】

士-13は採択となったが、基本審査で不適合や特記事項が多くあるので、今後の改善のために必要だと思うので、附帯意見を附してはどうか。

【飯野会長】

では、士-13については、「単一町内での活動とならないよう、広く周知していただきたい」というような附帯意見を附して採択する。

【横山委員】

資料No. 2は委員の素直な意見であるため、附帯意見ではないが、参考程度に提案者へ伝えてはどうか。

【飯野会長】

横山委員の意見を採用し、資料No.2に記載の事項を参考として、提案者へ伝えることとしてよいか。

（「よし」の声あり）

以上で議題を終了し、次回会議の日程調整に入る。

【金子委員】

次の会議では何をやるのか。

【小林主事】

今年度の地域活動支援事業については本日で終了し、次回からは自主的審議に入りたいと考えている。

【金子委員】

自主的審議とは具体的にどのようなことを行うのか。

【飯野会長】

今、高土区では高齢者サロンの関係や高土スポーツ広場の廃止等の話が出ている。これらの課題を整理し、地域協議会として何ができるかを協議していきたい。

【山田センター長】

今回、新しい委員さんに変更されたということで、今までの課題の整理だけではなく、ここで原点に帰って、市としても人口の増減等のバックデータを示しながら、私どもも勉強しながら話していけたらと思っている。

【飯野会長】

また、第2期目の委員を招いて、情報共有や意見交換を行うものよいと考えている。その辺りも含めて、次回の会議で検討していきたい。

(日程調整)

【飯野会長】

- ・ 次回の会議：7月21日（木）午後6時30分～ 高土地区公民館 中会議室
事務局から何かあるか。

【山田センター長】

士-15については不採択となったが、資料No.2の意見を正副会長と事務局で整理して提案者に通知させていただくがよいか。

(「よし」の声あり)

【飯野会長】

本日の議題は全て終了したので、閉会の挨拶を青木副会長にお願いする。

【青木副会長】

- ・ 挨拶

【飯野会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。